

明治時代の博覧会にも出展された

あお くら さん

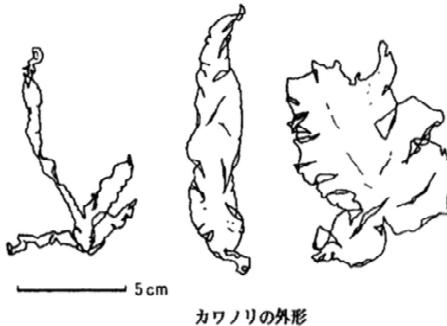
青倉産力ワリ

青倉川の上流地域には、水辺の岩場にカワノリが生育しています。カワノリは、海で見られるアオサと似ていますが、種類は異なります。

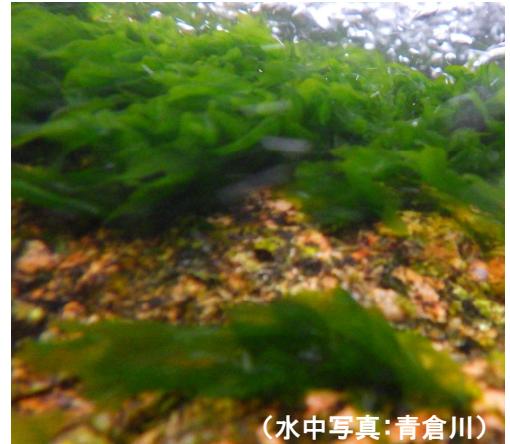
カワノリ (川海苔)

分類: カワノリ属

学名：*Plasiola japonica* Yatabe

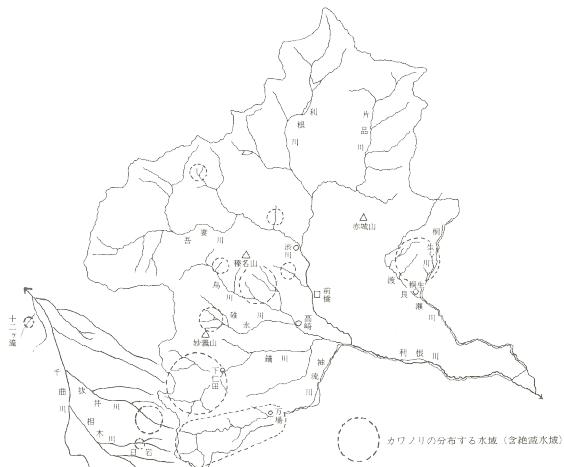


スケッチ：堀越武男



(水中写真:青倉川)

かつては県内各地で見られましたが、分布範囲がだんだん狭くなりました。現在は桐生川の一部と青倉川、やしきがわ屋敷川で確認されています。



1987年発行『群馬県植物誌』より 現在は更に分布範囲が狭まっている

生育環境

標高 200~500mで水温 13℃前後、ある程度日照時間のある急流な岩場に生育すると推定されています。分布範囲は、西日本～関東地方までの太平洋に流れ込む河川の源流域で、河川沿いの水辺の岩場に張り付いて成長し、最大 20 cmまで達することがあります。しかし、わずかながら例外地域があり、多くの疑問が残されています。

明治 23 年 第 3 回内国勧業博覧会に出展

かつて青倉地域では、カワノリを食用に加工していました。絶対量が少ないとこと、食べられるまでの処理に時間がかかることから、現在は、ほとんど食べられていませんが、1890(明治23)年に開催された第3回内国勧業博覧会にカワノリ(「青倉海苔」)が展出され、賞を受賞するほどの特産物でした。

参考文献:伊藤市郎・橋本達夫・小林一雄(1987)群馬県におけるカワノリ分布(2).群馬県植物誌
改訂版.435-454.

石川元康(2012)カワノリ生育地の環境に関する考察.日大生活科研報.35.23-32.

第3回国勧業博覧会出品目録より

作成:下仁田町自然史館 関谷 友彦